



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立151年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標「自ら感じ 考え 行動する子」

【令和6年度全国学力・学習状況調査】を終えて

4月に6年生を対象に実施しました「令和6年度全国学力・学習状況調査」における桑村小学校の調査結果と、今後の取り組みについてお知らせいたします。

今回は、国語・算数と学習状況の調査を行いました。児童の学力の一部であり、学校の教育活動の一側面であることをご承知おきください。（文責：井村）

1 学習について

国語	算数
△	△

表の見方（全国比）

「◎」…高い 「○」…やや高い 「□」…ほぼ同じ
「△」…やや低い 「▲」…低い

残念ながら、国語も算数も全国平均をやや下回りました。領域の結果は、以下の通りです。努力を要する事項として、次のような点があげられます。

国語 (全14問)	領域別結果（国語）					
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	言語文化に関すること	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
	△	◎	○	▲	□	△



▲目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題が見られます。
△資料を活用して、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題が感じられます。
△目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方工夫することに課題が感じられます。

算数 (全16問)	領域別結果（算数）			
	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
	△	□	▲	△



▲問題場面の数量の関係を捉え、式に表すこと
▲道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること
▲速さが一定の時の道のりと時間の関係を考察すること
▲円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること
▲直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係を理解すること
▲示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること

今後の取り組み

国語	※効果的な資質・能力の育成のため、記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を工夫していきたいと思ひます。
----	--

算数	※日常生活を絡めながら、活用できる知識や技能を習得させていきたいと思います。 また、データを言葉と数を使って表現する機会を意図的に設定していきたいと思います。
----	--

2 生活や学習の様子について

全国学力学習状況調査では、学力面だけではなく、学校や家庭での生活・学習の様子についても調査しています。近年この調査を通して、子供たちの生活の様子と学力の状況に相関関係があることが明らかになっています。以下、主な項目についてお知らせします。

表の見方（全国比） 「◎」…良好 「○」…やや良好 「□」…ほぼ同じ 「△」…やや課題 「▲」…課題

質問内容	R3	R4	R5	本年
朝食を毎日食べていますか	△	◎	◎	○
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	○	□	○	◎
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	▲	△	◎	◎
自分には、よいところがあると思いますか	◎	◎	◎	◎
将来の夢や目標を持っていますか	○	◎	◎	◎
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	◎	◎	◎	□
学校に行くのは楽しいと思いますか	◎	◎	▲	△
平日家でどのくらいの時間勉強をしますか（塾含む） ※1時間以上の値	○	△	△	△
平日のテレビゲーム（PC、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）時間 ※2時間以上				▲
休日家でどのくらいの時間勉強をしますか（塾含む） ※1時間以上の値				▲
休日のテレビゲーム（PC、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）時間 ※2時間以上				▲

生活や学習の状況について、以下のような姿が浮かび上がってきます。

◎睡眠や起床、朝食を食べるなどの基本的な生活習慣が身に付いています。
◎自己肯定感が、高いです。
□いじめについての認識が、これまでの6年生よりもやや低い傾向が見られます。
△学校に行くのが楽しいと感じていない子が、数名います。（昨年度よりやや向上）
▲テレビゲーム、SNS や動画視聴などを平日でも長時間行っているようです。そのためなのか、家庭学習の時間が短くなっています。（特に土・日曜日）

今後の継続した取り組み

- 一人一人に寄り添い、個に応じた支援や指導をしていきます。小規模校の強みを生かして、学校に行くことに楽しさを感じていない子の背景を対話の中で探り、寄り添います。また、学校での安心感を高めるために、担任を中心に様々な教員が関わります。その上で、状況に応じて個に応じた支援をしたり、集団のよさを生かした支援をしたりしていきます。 - 一人一人が「個別最適な学び」を自覚できるよう、指導方法を工夫していきます。 - I C T機器が学びを支える道具になるために、授業や宿題を通して機器を生かした学びになるよう指導方法を工夫していきます。 - ゲームや動画視聴等と学習との時間配分など、家庭での過ごし方について、お子さんと是非話し合っていたきたいと思います。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。
